

GEM映画白書 ダッシュボード

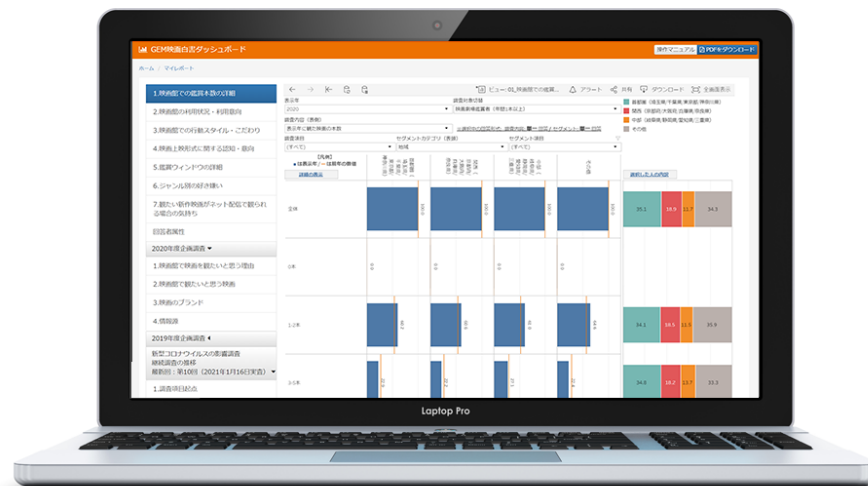
映像コンテンツビジネスの構造・環境が急速に変化するなか、映画鑑賞者の行動心理や、その「変化」を解き明かすことが求められています。

「GEM映画白書ダッシュボード」は、7年にわたるトラッキングデータにより分析作業を支援し、“具体的なデータ”で映画鑑賞者の実像を浮かび上がらせることができる画期的なオンラインツールです。2021年のアップデートでは、コロナ禍における映画鑑賞者の行動心理にフォーカスした企画調査や新機能を実装。映画市場の“変化”を的確に捉えることができるため、映画ビジネス従事者様にとって欠かせないツールです。

CATS • BIRDS • DOGS • PANDA

Cinema Analytical Tracking Survey

映画製作・興行・配給・宣伝向け分析サービス



映画鑑賞者のスタイル・ニーズの＜変化＞が「こだわり」や「嗜好」の切り口でひと目で分かる

GEM映画白書ダッシュボード



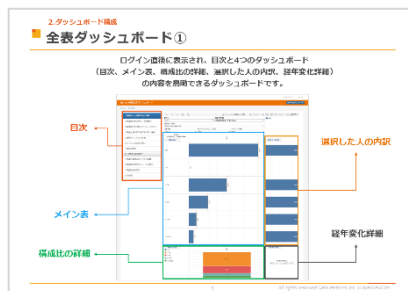
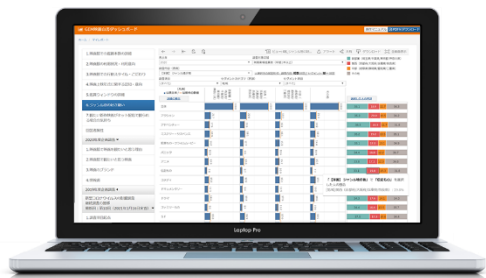
「映画を見る際、どのような劇場設備にどの程度こだわるのか」「ホラー作品への関心は本当に高まっているのか。関心層はその作品に何を求めているのか」などの**普段直感的に判断していることを“具体的なデータ”で裏付けられる**画期的な**オンラインツール**です。

どのようなデータを閲覧できるのか～分析イメージ

- 映画鑑賞に何を求めているのか
- どのような劇場設備にどの程度こだわっているのか
- 映画を観る際にこだわっていることは何か
- ウィンドウ別でどのような映像コンテンツが好まれているか
- 性年代別で劇場参加者人口はどのように推移しているか
- ホラー映画好きな層は他にどのようなジャンルの映画を好んでいるのか
- 各社シネコン別の劇場映画鑑賞者の行動スタイルの傾向はどうか

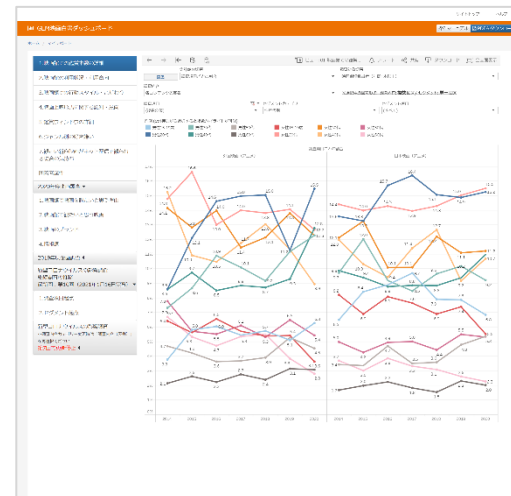
インタラクティブに分析軸を切り替えられるオンラインツール

「全表」「メイン表（詳細の表示）」「構成比（選択した人の内訳）」「構成比（構成比の詳細）」「経年変化詳細」の5つと「目次」からなるダッシュボードで構成しており、表示する指標やセグメントを自由に切り替えられるオンラインツールです。



過去7年分の調査データから経年変化も確認可能

2014年から2020年にかけて調査した各年のデータを参照できるため、各指標ごとに過去7年分の経年変化の分析も可能です。
※一部指標を除く



価格

初期設定料：550,000円（税込）

※ 次年以降も継続してご契約いただける場合は、次年以降の初期設定料は不要です。ただし、契約期間が切れ、一定期間後に契約を再開された場合は、再度、本費用が発生します。

※ お申込完了後、初期設定に5営業日いただきます

年間閲覧料（5IDセット）：330,000円（税込）

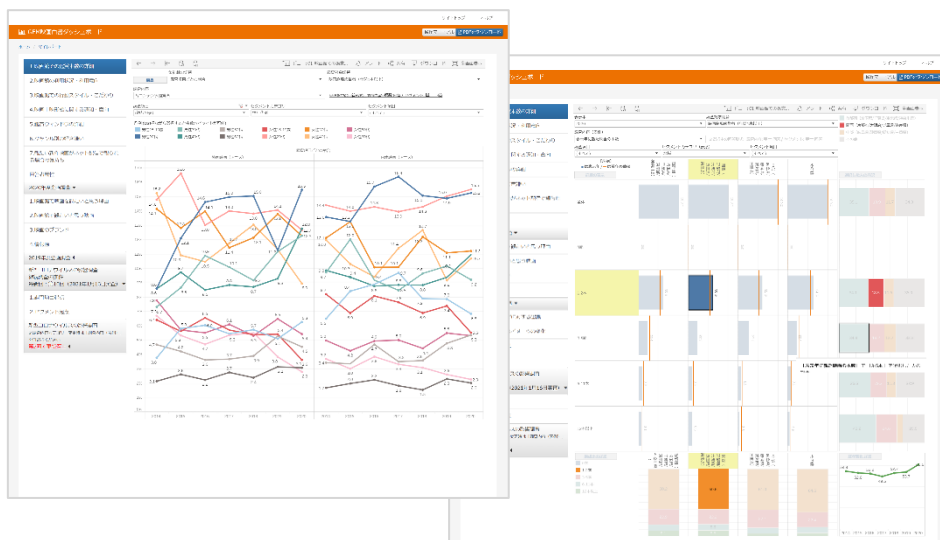
※ 追加IDが必要な場合は、1IDにつき66,000円（税込）の費用が発生します。

※ 年間ご契約中にIDを追加される場合は、月割り清算となります

2021年版「GEM映画白書ダッシュボード」アップデート内容

最新2020年度の「定点調査」データを追加

2020年度の「定点調査」データを新たに追加。これにより、過去7年（2014年～2020年）にわたる豊富なトラッキングデータにより、これまでよりもさらに映画鑑賞者の行動心理の変化に迫ることができるようになりました。



「企画調査」コロナ禍だからこそ改めて問う、映画館に求める価値

「GEM映画白書ダッシュボード」では、毎年の「定点調査」に加え、昨年からその年の特徴的な傾向を把握できる「企画調査」を実施しています。2020年はコロナ禍においてステイホームが推奨され、動画配信サービスが台頭するなど、映画の鑑賞方法は多様化しました。そこで今年は、映画鑑賞者が映画館に求める価値を改めて調査。「映画館で映画を観たい理由」「映画館で観たい映画」などといった調査を通じて、映画館の魅力を紐解きます。

「新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート」のデータを時系列推移で確認できるダッシュボードを追加

GEM Partnersでは、新型コロナウイルスの影響を把握するために、エンタテインメント業界に特化した形で、2020年4月末から自主企画「新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート」を継続的に実施しており、これまでに10回を数えました。通常、レポートはPDFの形で無償配布しておりますが、「GEM映画白書ダッシュボード」ではオンラインダッシュボードを利用。これまで行ってきた同レポートの定点調査データを、時系列推移、セグメント別（性年代別、映画鑑賞本数別など）で深掘り分析できるようになりました。



時系列推移

セグメント別割合／推移

ダッシュボード メニュー一覧

定点調査（2014年～2020年）

1. 映画館での鑑賞本数の詳細
 2. 映画館の利用状況・利用意向
 3. 映画館での行動スタイル・こだわり
 4. 映画上映形式に関する認知・意向
 5. 鑑賞ウィンドウの詳細
 6. ジャンル別の好き嫌い
 7. 観たい新作映画がネット配信で観られる場合の気持ち※1
- 回答者属性

2020年度 企画調査

1. 映画館で映画を観たいと思う理由
2. 映画館で観たいと思う映画
3. 映画のブランド
4. 情報源

2019年度 企画調査

1. 映画料金値上げに対する認識
2. 映画館に対するイメージの変化
3. 映画館利用状況
4. 情報源

新型コロナウイルスの影響調査 継続調査の推移

1. 調査項目起点
2. セグメント起点

※1：2020年度調査から実施

※2：各調査内容／項目の詳細は別紙にてご案内

活用例

企画・制作／配給・宣伝に携わる方

作品企画・宣伝戦略の立案

- 作品の市場ポテンシャル
- ターゲット層はどういったところにありそうか
- 過去の類似作品は鑑賞者にどのように見られているのか

ホームエンタテインメント事業に携わる方

戦略立案

- 劇場以外のウインドウでの映画鑑賞状況
- 劇場の鑑賞者の属性
- 市場におけるジャンルの嗜好特性・変化の把握
- 劇場と配信における鑑賞意欲の特性分析

興行に携わる方

顧客単価の向上などの施策立案

- 鑑賞者が各劇場をどのように利用しているのか
- 鑑賞者が劇場に求めている価値とはなにか
- どのような購買行動をとっているのか

その他、映画ビジネスに携わる方

俯瞰した基礎データとして

映画市場における消費者行動心理と変化の把握
新型コロナウイルスがエンタテインメント業界に与えた影響

【実際のお客様の活用例】

- 「この作品で狙っているターゲット層は、市場全体でみるとどういう傾向か？」といった作品の企画立案時
- 「市場規模ってどのくらい？」といった基礎的な市場情報のクイックな確認
- 「作品のポートフォリオ作成」などの経営戦略立案時

仕様

GEM映画白書ダッシュボード	
調査方法	インターネットアンケート
調査対象	全国に住む15～69歳の男女
調査実施日 (2020年度データ)	2021年1月23日（土）～2021年1月24日（日）
回答者数 (2020年度データ)	9,495人（うち映画劇場鑑賞者 ※ 3,079人分）
数値の重み付け	総務省発表の人口統計、CATS参加率を参考に各調査者を性年代・映画鑑賞頻度別に重みづけ
調査年度	2014年度、2015年度、2016年度、2017年度、・2018年度、2019年度、2020年度
閲覧方式	オンラインダッシュボード

GEM Standard

商品・サービス概要

商品・サービス一覧

レポート&DB商品

映画製作・興行・配給・宣伝向け
分析サービス



Cinema Analytical Tracking Survey

ホームエンタテインメント向け
分析サービス



Blu-ray Internet DVD Survey

個別設計サービス

個別リサーチ&マーケティング
ソリューション



Demand & Opportunity Generating Survey

デジタルマーケティング
実行&分析



Programmatic ad AND Analytics

各サービスのポイント

レポート&DB商品

CATS

トラッキングデータをベースにした需要予測モデル
Cinema Analytical Tracking Survey

映画・配給業界のデファクトスタンダード指標

- ① 業界共通指標としての作品の浸透度と興行収入の予測
- ② 戦略立案・作品宣伝プランニング・結果検証をワンストップで行えるデータベースラインナップ



BIRDS

ホームエンターテインメント市場の定点観測
Blu-ray InteRnet DVD Survey

動画配信・放送・DVD市場の変化を網羅的にダイナミックにとらえる唯一のインサイトデータ・レポート

- ① 俯瞰的に映像エンタテインメント業界をとらえるデータ
- ② 動画配信はプラットフォーム・コンテンツサイドのマーケティングニーズすべてに対応



個別設計サービス

DOGS

戦略立案・作品評価のためのカスタマイズリサーチ
Demand & Opportunity Generating Survey

直観を確信に変えるカスタマイズリサーチで作品の可能性を最大化するロードマップ構築

- ① エンタテインメントブランドのポテンシャル、強み・弱みを洗い出す
- ② ファンの攻略方法を明確化し、ファン層の間口奥行を拡大
- ③ アクションしやすい、具体性のある示唆を提供



PANDA

データをフル活用したデジタルマーケティング
Programmatic ad AND Analytics

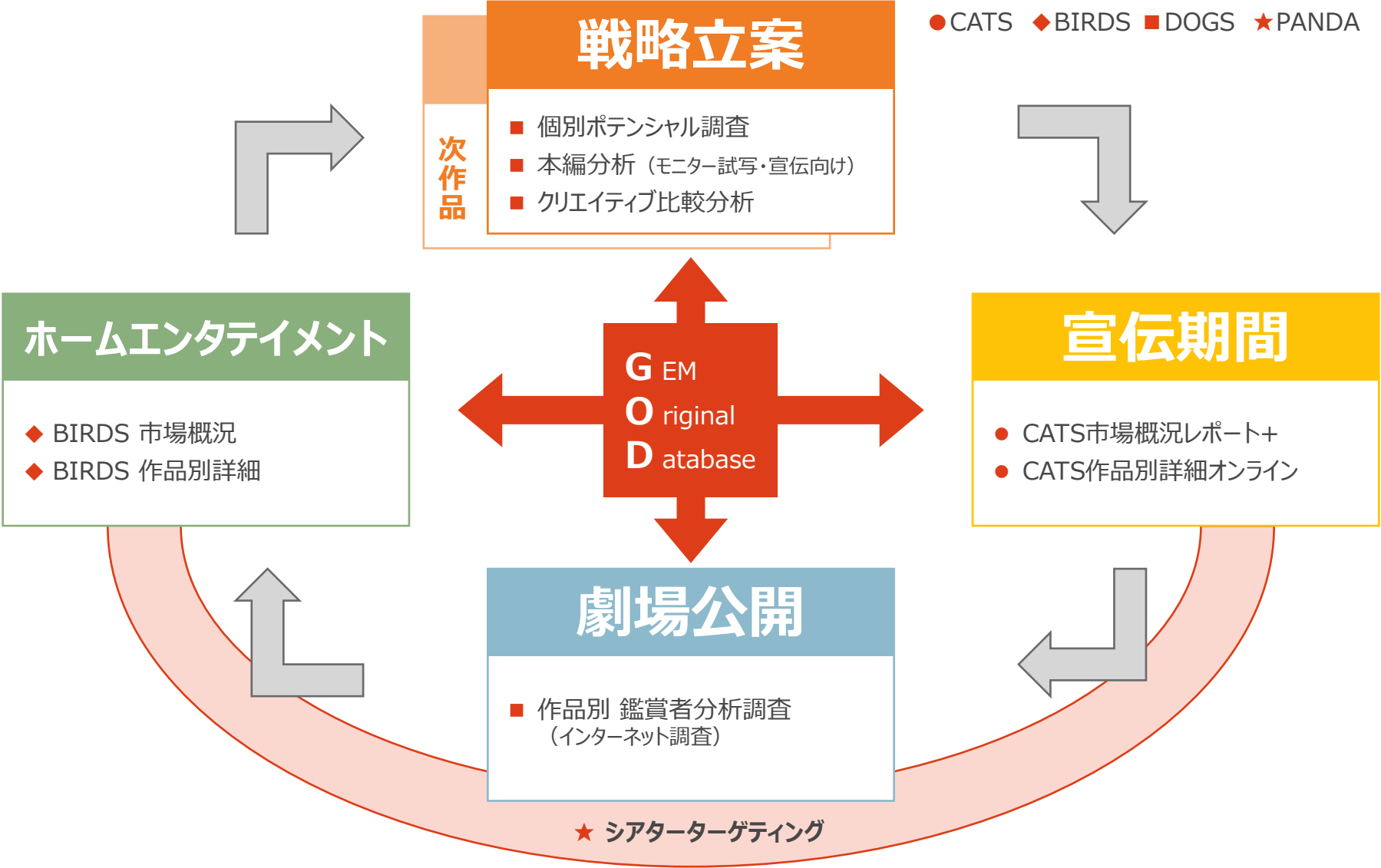
データ × デジタルの力を最大限発揮しヒットを創出

- ① トラッキングデータ、リサーチサービスの結果を活かした、作品ごとのデジタル広告プランニング
- ② 劇場データ/映画ファンデータ保有は業界ナンバーワン



商品・サービスのラインナップワンストップのサービスを実現

映像コンテンツ事業者が、データ×デジタルマーケティングのサポートをシームレスなワンストップで受けられるラインナップ



お問い合わせ先

GEM Partners株式会社

Tel : 03-6303-1346 (平日10:00~19:00)

E-mail : sales@gempartners.com

担当 : 河西 (かさい) 、西川

 **GEM Standard**

<https://gem-standard.com/>